



駿府城公園

来たのは最初の一回だけでした。釜山から海を渡ってきた朝鮮通信使は、江戸に向かう途中に駿府城に立ち寄り、徳川家康にあいさつをしようとしたが、すでに將軍を退いていた家康は、まず江戸にいる將軍の秀忠(家康の息子)にあいさつをするよう伝えました。



徳川家康が始めた朝鮮通信使ですが、彼が生きていた時期に朝鮮通信使が日本



# 徳川家康と朝鮮通信使の交流

朝鮮通信使は、家康の言うとおり、先に江戸で秀忠にあいさつし、帰りに清見寺で一泊しました。すると、清見寺からみえる三保の方向に船がたくさん見えてきてビックリ。家康は、朝鮮通信使をもてなすために船を用意していました。家康は、サブライズ好きだったので、朝鮮通信使は、船で三保を遊覧して、とても満足して朝鮮に帰っていきました。



▲駿府城公園の徳川家康像



清見寺



帰国後に書かれた書物には、清見寺からみる三保半島や海の美しさが記されています。朝鮮通信使も世界文化遺産富士山の構成資産に登録された三保松原から富士山を眺めたのかな？

三保松原と富士山

